

目次

まえがき

第一部 公開シンポジウム

一 趣旨説明

中国人には貸さない／本音と建前／国際化、国際化／シンポジウムの進め方

伊東 利勝

3

二 豊橋市長にあてた要望書の真意

許 梅邨

8

(1) 「花岡事件」補償問題の衝撃

強制連行／口先だけの謝罪／今さら補償なんて

8

(2) 要望書・質問状提出までの経過（概略）

賢沢な要求ではない／外国人には貸さない／誰かに抗議したい／理由にならない理由／いいかげんな回答書

10

(3) 民族差別の根源

日本の裏切り行為／アジアを踏み台／経済の暴力／銃をカメラに／友好と往来・交流は違う

15

三 豊橋における在日朝鮮・韓国人差別問題

—義務はあっても権利はない—

金 尚皓

- (1) 差別の実態 22

転勤・転居もままならない／なぜ朝鮮人に産んだ／商業活動は通名で／犯罪者扱い／新婚旅行は蜜月が終わってから／朝鮮民族学校は各種学校／微々たる補助金／大学の受験資格もない／高い定期券

- (2) 差別の理由 28

惨憺たる生活状態／非友好的な日本政府／お互いの理解へ向けて

四 差別の社会的構造

平野 一郎

- (1) 日本における身分制の生成と発展 32

起点としての秀吉／遊廓の公認／琉球と北海道の侵略／身分制の強化／形式的身分解放令

- (2) 日本のアジア侵略 37

軍人ところつき／せめてもの慰め／邦人保護の名目／軍閥支配体制

- (3) 近代日本社会の身分意識 41

家と家との結婚／毛並みがよい／安価な肉体労働者／国内の矛盾を国外へ／心やさしい者どうし

(4) 身分意識と民族差別 ……………

いじめの構造と差別／親日家を反日家に／平和と人権

五 コメント 石井 和子

不愉快な思い／ことわる具体的理由の提示を／外国人の話をよく聞こう／ヒトはすべてヒト科／武力や経済力による「同種殺し」／遺伝学的にはみな同族／法による解決を／行政による配慮を

六 総合討論 司会 伊東 利勝

ちょっとした時にも／民族差別と言われるのは心外／自分の好きな所に住めるかどうか／中国人どうして抑制すべき／中国人の側で努力を／原因がなくても結果がある／天下り、看護婦上がり／マナーのいい人、悪い人、いろいろ／泣き寝入り／排外ナショナリズム／アメリカに対する劣等感／差別をはかる物差し／行政の先導で／市民と話したい／我々の対応こそを／もちつもたれつ／帰化しても差別／日本側から歩み寄れ／何がそうさせたか／優先すべき法的・制度的改善／問題ある愛知大学の朝鮮語講座／日本人に対する感情を申せ／カギは人種差別撤廃条約の批准／批准しない日本／日中友好都市宣言を／いろいろなレベルで／行政レベルで差別を容認／タテ社会が動かす日本経済／市のレベルで先取りを／真の国際化への近道／差別意識の制度的解決

第二部 討論を終わって

一	真の国際交流・真の友好とは	橋本 親往	97
二	中国人入居者の実態と許氏の問題	中野 保義	101
三	相互理解への努力こそ大切	小笠原英子	106
四	理解の向こうに見えてくるもの	尾上さとみ	108
五	言うは易し、行うは難し	東 清彦	110
六	無意識の悪意	柴田 昌代	112
七	差別と教育と国際化	浅賀 玲子	115
八	外国人差別の日本的事情	小池 保利	120
九	愛知大学の朝鮮語講座にかかわる問題	小田 伸	124
	愛知大学側の回答		125
総括		伊東 利勝	127

差別意識の再生産構造／汚いのは文化の問題か／制度による解決／「国籍条項」
 ／地についた国際交流事業を／色メガネをかけた中学生／在日外国人との国際
 交流／我々の人権を守るため

資 料

一	豊橋市長への『要望書』	141
二	豊橋市長よりの『回答』	143
三	豊橋市長に対する『公開質問状』	144
四	在日朝鮮人の法的地位の向上などに関する意見書	147
五	人種差別撤廃条約（抄）	148